



## 9月15日 交通安全出発式

沖縄の魔除け「サングワー」をモチーフにした、交通安全のお守り「飲酒運転根絶ゆるサングワー」を西原町女性団体連絡協議会と西原町商工会女性部で作成し、贈呈を行いました。



## 9月17日～9月24日 参加者：神田 幸枝 (女性の翼 会員)

### 沖縄県女性海外セミナー女性の翼 ニュージーランド研修

#### 【研修報告】

「男性が女性を引き上げていくのではなく、女性が女性を数多く引き上げていく」という言葉に心を打たれ、自分自身を含めてトレーニングが必要だと感じました。女性が働きやすい環境は、全ての人が働きやすいと言います。そのような社会にできるよう発信していきたいです。

ニュージーランドは世界で初めて女性が参政権を取得した国家です。各国の社会進出における男女格差の少なさを表した指標(ジェンダーギャップ)でも常に10位以内となっており、先進国の中でも女性進出の進んだ国です。

## 10月13日～10月14日 参加者：浦崎 成子 (西原町女性団体連絡協議会 事務局長)

### 日本女性会議2017とまこまい

#### 【研修報告】

『地域活動の見える化、どれだけの力を費やしたか、お金にならない社会参画への見える化、ボランティアの見える化に、企業と行政が力を出すべきであろう』という提言が、全国の女性団体やボランティアグループの今後の在り方を示す重要なものになります。

女性会議などへの参加を通じて、国内外で女性の地位向上を目指す動向を注視していけるよう、女性団体連絡協議会の取り組みが必要と思われます。



## 2月13日 男女共同参画講演会

「男も女も笑顔で子育てする講座～よい親ではなく、笑っている親に～」についての講演会(西原町女性団体連絡協議会主催)が玉那覇敦也さん(ファザーリングジャパン)を講師として、開催しました。

玉那覇さんは、親が赤ちゃんに接した時の表情を比較し、無表情で赤ちゃんに接すると、赤ちゃんがストレスで泣きだしてしまうことから、親が笑顔でいることの大切さを語りました。また、ストレスをためすぎないように、育児をサポートする家電やアプリを取り入れることを提案しました。



## 男女共同参画社会…

男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会(男女共同参画社会基本法第2条)

## 6月19日～6月30日 男女共同参画パネル展

### DV(ドメスティック・バイオレンス)とは

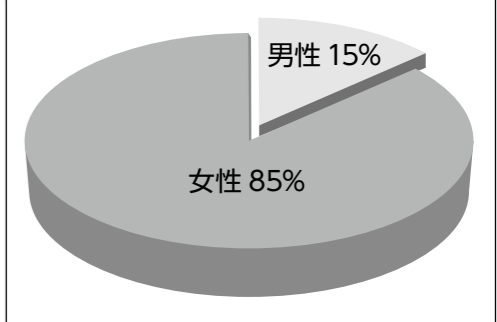
日本では「配偶者や恋人など親密な関係にある、又はあった者から振られる暴力」という意味で使用されています。離婚後や元婚約者等「元」の関係、被害者が男性の場合や同性カップル間の場合も含まれます。

### DVの種類

- 身体的暴力 殴る・蹴る・髪を引っ張る・物を投げつける etc..
- 精神的暴力 無視する・脅す・怒鳴る・大切にしているものを壊す etc..
- 性的虐待 性行為の強要・避妊に協力しない etc..
- 経済的暴力 生活費を渡さない・働きに行かせない・借金をさせる etc..
- 社会的暴力 友人に会わせない・メールや電話のチェック・行動の監視 etc..



男女別 DV 被害者の割合



相談機関	電話番号	相談機関	電話番号
沖縄県男女共同参画センター(ていりる相談室)	(女性相談) ☎868-4010 (男性相談) ☎868-4011	那覇地方務局 人権擁護課 女性の人権ホットライン	☎853-1102
沖縄県警察本部(警察安全相談)	☎863-9110 (または #9110)	沖縄県女性相談所 配偶者暴力相談支援センター	☎854-1172 ☎854-1173(夜間)
沖縄県南部福祉保健所(南部配偶者暴力相談支援センター)	☎889-6364	なは女性センター	☎861-7515

## ワークライフバランスとは

「仕事」と家庭や地域活動等の「仕事以外の生活」との調和がとれ、その両方が充実している状態をいいます。仕事と家庭生活の両方や、家庭生活を優先したい割合が高くなっている一方で、現実には仕事を優先している割合が高く、希望と現実との大きな差が見られます。

生活の中で重視すること	女性 (%)		男性 (%)	
	希望	現実	希望	現実
「仕事」と「家庭生活」	32.7	31.9	32.9	23.7
「家庭生活」	32.4	17.1	23.4	8.4
「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活」	13.5	6.7	12.7	8.3
「家庭生活」と「地域・個人の生活」	7.6	2.9	6.3	3
「仕事」	3.2	23.8	5.1	30.8
「仕事」と「地域・個人の生活」	3.5	4.5	2.9	4.7
「地域・個人の生活」	2.8	2.4	3.1	2.3

※参照：県民意識調査、「わからない」および「無回答」を除いた値を記載

